# 教材の力 ——心が動く、対話が生まれる

## 文学的な文章
## 人に出会う、私と出会う

文学を教室で学ぶ意義。それは、一人一人異なる、多様な解釈を交わし合うことで、他者に出会い、自分を見つけることだと考えました。

### 「はじまりの風」（一年）蜂飼 耳

春。出会いの季節にふさわしい、新しい文学作品の登場です。誰もが主人公に自分を重ね、自分の物語として読み味わえます。

レンの心にも、
ざわざわと風が吹き始めた。



### 「ヒューマノイド」（二年）伊坂幸太郎

中高生にも人気の高い作家の書きおろし小説。伏線や主人公の心理を読み解くおもしろさで、自然と対話が生まれます。

タクジ、
聞いていた話と
違う
じゃないか。



### 「六千回のトライの先に」（二年）吉藤オリィ

互いの違いを認め合い、誰もが自分らしく生きるためには。共に生きる未来を築く生徒たちに問いかける読書教材です。




## 説明的な文章
## 論理を捉え、課題に向き合う

不確かな情報が氾濫する現代社会。生徒には、情報や他者の考えを正確に把握したうえで、自分の意見をもち、課題を解決する力を身につけてほしい。そんな思いで説明文教材を作りました。

### 「複数の意見を読んで、考えよう」（三年）
**真鍋淑郎**（気象学者、ノーベル賞受賞者）
**伊勢武史**（生態学者、環境科学者）
**堅達京子**（テレビプロデューサー）





三つの文章を読み比べる教材が登場。紙上パネルディスカッションのような新しい教材を通して、多様な意見を吟味し、自分の意見を確立する力を育みます。

詳しくは 教材の力



言葉がまるで
うぶ毛をなくしたかのように、
むき出しで
人にぶつかるようになった。



### 「それでも、言葉を」（三年）鷲田清一

言葉の現状を憂いつつ、それでも言葉の可能性を信じ続ける筆者。言葉との向き合い方を改めて考えさせる教材です。

# 大迫力の古典資料

見て、聞いて、組み合わせて
**魅力あふれる教材**

30ページ
味わう、親しむ、広がる「古典」



## 「平家物語」の世界

**平家の栄華**

保元の乱・平治の乱で勢力を広げた平清盛は、武昇りつめ、一族は全盛期を迎える。おごり高ぶる平家


平家の栄華を象徴する厳島神社（広島）




**源氏の挙兵**

天皇家が出した平家追討の令旨が、全国各地の源氏に届き、平家打倒の動きが始まる。


［右上］平家の兵に引っ掛けられ、義経は弓を海に落としてしまう。
◀ 151ページ 弓流し

［左下］平家軍の挑発を受け、与一は船上の扇を射ることになるが……。
◀ 146ページ 扇の的

**平家の滅亡**

壇の浦の戦いで、ついに平家は滅亡する。


❼壇の浦の戦い　二位の尼が安徳天皇を抱きかかえ、入水する。「源平合戦図屏風」（部分）

二位の尼（清盛の妻時子）は、八歳になる孫の安徳天皇を抱きかかえ、舟端に歩み出た。幼い天皇に、「私をどこへ連れていこうとするのか」ときかれた尼は、はらはらと涙を流し、波の下にも都はございます。」と答えて、共に海底深くしずんでいった。

安徳天皇の母である建礼門院も後を追って入水するが、源氏の武士に引き上げられる。

建礼門院は、後に出家して、京都大原で平家一門を弔う。


❽屋島の戦い
「源平合戦図屏風」（部分）


熊谷 直実（右）の招きに応じて振り返る平敦盛（左）。
◀ 304ページ 敦盛の最期
「一の谷合戦図屏風」（部分）

❻**屋島の戦い**　勝 源氏
**嵐の海を渡り、平家を奇襲**

わずかな舟で四国へ渡った義経は平家を背後から急襲。慌てた平家は舟で海へ逃れる。
※扇の的「弓流し」は二の戦い。

❼**壇の浦の戦い**　勝 源氏
**最終決戦！ 平家滅亡**

両船団が海上で向かい合う。潮の流れが変わり、源氏が優勢に。安徳天皇らが入水し、仕えていた女性たちも海に身を投げる。武将たちも壮絶な最期を遂げ、平家は滅亡する。

「見るべきほどのことは見つ。今は自害せん」（平知盛）

建礼門院、死去。

❺**一の谷の戦い**　勝 源氏
**「鵯越の逆落とし」で源氏勝利**

険しい山道を馬で駆け下りる奇襲により、平家は大混乱。一門の多くがなくなる。

❹**宇治川の戦い**　勝 源義経
**源氏どうしが激突する**

義仲の横暴な振る舞いで都の治安が悪化。頼朝の命令を受けた義経らが義仲軍を追討。

❸**倶利伽羅峠の戦い**　勝 源氏
**義仲の奇襲で平家は谷底へ**

頼朝のいとこに当たる木曽義仲は、倶利伽羅峠（石川県と富山県の国境）で平家とぶつかる。夜の奇襲で峠の断崖に追い込まれた平家は、次々と谷底に転落していく。

義仲の軍が迫ると平家は都を離れ、六歳の安徳天皇を連れて西国に逃亡。

❷**富士川の戦い**　勝 源氏
**水鳥の羽音に、平家総崩れ？**

富士川（静岡県富士市）の両岸に陣を構えた両軍。平家は水鳥の飛び立つ羽音を源氏の襲来と勘違いし、逃げ惑う。

平清盛が熱病で死去。

「頼朝が首をはねて、我が墓の前に持ってこい」（平清盛）

❶**石橋山の戦い**　勝 平家
**挙兵直後の頼朝、大ピンチ**

伊豆で挙兵した源頼朝は、石橋山（神奈川県小田原市）で戦いに挑むが、自軍の十倍の敵に敗れ、撤退する。

保元の乱
平治の乱
平清盛が太政大臣に
平家追討の令旨

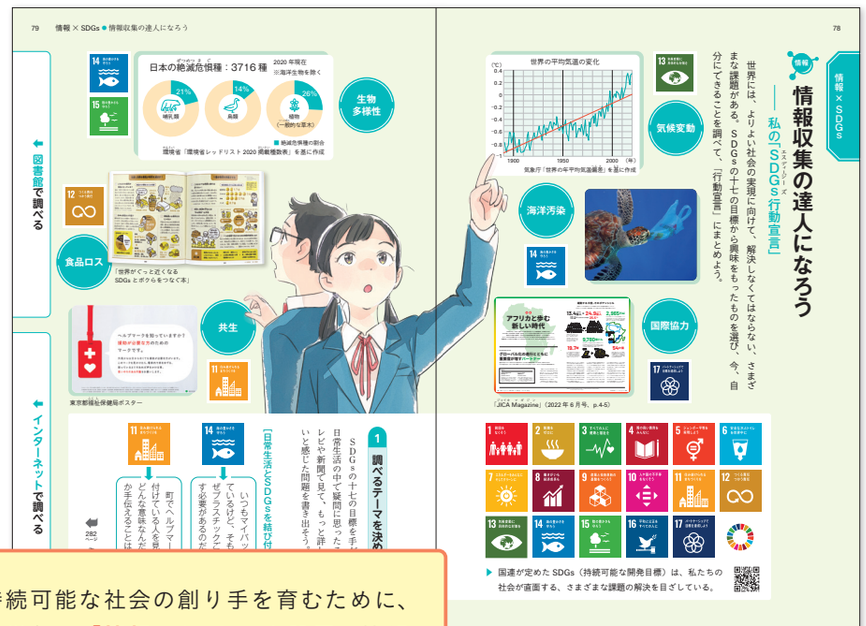
**大判資料を味わえる 両観音開き構造**

各学年の**ビジュアル資料**を大幅に拡充。迫力のある紙面が、生徒を古典の世界にいざないます。

2年 P141「『平家物語』の世界」

# 情報×SDGs

29ページ
実生活に生きる情報活用能力を




持続可能な社会の創り手を育むために、全学年に「**情報×SDGs**」を設置。情報活用能力を養いながら、現代的な諸課題について、主体的に考えられます。

1年 P78「情報収集の達人になろう」

# QRで鍛える聴解力

26ページ
「話す・聞く」「書く」ための確かな力を

話す 聞く

［話し合い（進行）］

## 話し合いを効果的に進めよう




▼二次元コードの動画を視聴しよう

卒業式の日に、クラスで黒板アートを制作することになった。学級会で出た案を基に、実行委員が何を描くかを決めようとしている。進行役になったつもりで、話し合いの様子を視聴し、下の問題に取り組もう。

「話すこと・聞くこと」教材に、**聴解力**を鍛える新系列が登場。動画や音声の視聴から始まる、新しい学びの形を提案します。

3年 P183
「話し合いを効果的に進めよう」